

令和7年度 地域健康カルテ

田尻町版



目次

01 地域健康カルテの目的

02 地域健康カルテを有効に活用するために

03 寿命・死亡状況

平均寿命・健康寿命の推移
標準化死亡比（SMR）

04 人口・世帯数・就業関連情報

年齢階層別人口
世帯種別世帯数
就業関連情報

05 生活習慣

喫煙状況
運動習慣状況
食習慣状況
飲酒習慣状況
睡眠状況
健康への関心
社会参加状況
孤食状況(朝)
歯の平均本数

06 けんしん実施状況

特定健診受診率（市町村国保・協会けんぽ）
特定保健指導実施率（市町村国保）
がん検診受診率（胃、大腸、肺がん、子宮頸がん、乳がん）

07 特定健診・特定保健指導結果

特定健診受診者数 総数
メタボリックシンドローム判定状況
特定保健指導判定状況
特定保健指導利用状況
高血圧有病者
糖尿病有病者
脂質異常症有病者

08 寿命に関連する要因

09 地域健康カルテ（田尻町概要版）

01 地域健康カルテの目的

このカルテは、地域住民の健康状態や生活習慣に関するデータを体系的に整理し、自治体における健康増進施策の立案・評価に活用することを目的として作成しています。

住民の健康課題を可視化し、経年変化や他地域との比較を行うことで、保健事業の優先度を明確化し、効果的かつ効率的な施策展開につなげることを目指します。なお、本カルテに掲載されたすべてのデータを使用する必要はなく、施策や業務の目的に応じて、必要な部分を適宜ご活用ください。

また、地域健康カルテに掲載したデータ等について、各市町村の比較も容易にできる「大阪府健康データダッシュボード」を下記大阪府ホームページで公開していますので、あわせてご活用ください。

<https://www.pref.osaka.lg.jp/o100070/kenkozukuri/kenkoukarute/index.html>

02 地域健康カルテを有効に活用するために

✓ 課題の把握

健診データや生活習慣調査を用いて、地域特有の健康課題（高血圧、肥満、運動不足など）を明確にします。
性別や年度別、保険者別に分けて分析することで、重点的な対象群を把握できます。

✓ 施策立案の根拠資料

「なぜこの事業を行うのか」を住民や関係機関に説明する際のエビデンスとして活用できます。
また、健康日本21や大阪府の健康増進計画との整合性を確認するための基礎資料にもなります。

✓ 効果の検証・評価

事業実施前後で指標の変化を比較し、取組みの成果を定量的に評価できます。
継続的に情報を更新することで、改善の進捗や新たな健康課題を早期に把握できます。

✓ 地域間・部署間の共有

他市町村や各部署との情報共有を通じ、連携した健康施策の推進につながります。
教育、福祉、労働など多分野との協働を促進するための共通資料としても活用できます。

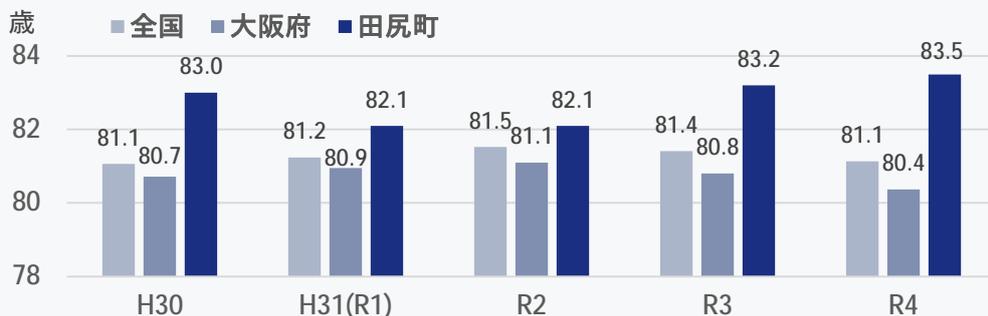
「匿名医療保険等関連情報データベース(NDB)の分析項目について

- 地域健康カルテ掲載項目のうち、「05 生活習慣（喫煙状況、運動習慣状況、食習慣状況、飲酒習慣状況、睡眠状況）」、「07 特定健診・特定保健指導結果」では、「匿名医療保険等関連情報データベース(NDB)」を使用しています。
- NDBデータの分析は、年齢層を5区分（35～39、40～49、50～59、60～69、70～74）に分け分析しましたが、本カルテには、50～59歳についての結果をまとめています。その他年代の結果については、「大阪府健康データダッシュボード」に掲載しています。
- NDBにデータが収載されていない等のために、算出できなかった項目は「NA」と表記しています。また、市町村別の結果はデータ数が少なくなる場合があり、地域の特性を必ずしも一般化したものではないことに注意が必要です。

03 寿命・死亡状況

< 男性 >

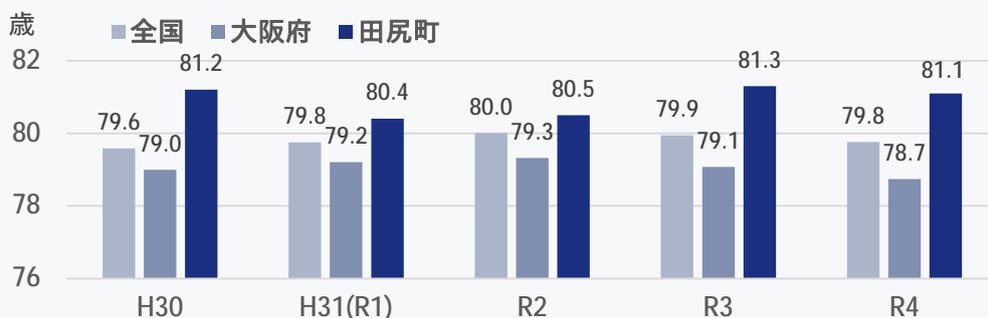
平均寿命の推移



府内2位
偏差値66.0

男性の平均寿命は府内上位に位置し、近年は概ね安定した推移を示しています。

健康寿命の推移



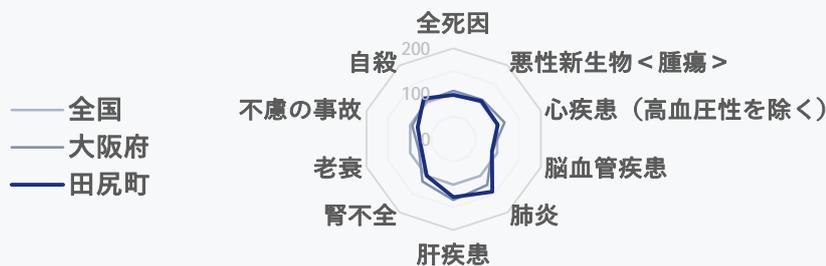
府内6位
偏差値59.9

男性の健康寿命は府内上位にあり、平均寿命との差は大阪府平均よりやや大きい状況です。

平均寿命	H30	H31	R2	R3	R4	健康寿命	H30	H31	R2	R3	R4
全国	81.1	81.2	81.5	81.4	81.1	79.6	79.8	80.0	79.9	79.9	79.8
大阪府	80.7	80.9	81.1	80.8	80.4	79.0	79.2	79.3	79.1	79.1	78.7
田尻町	83.0	82.1	82.1	83.2	83.5	81.2	80.4	80.5	81.3	81.3	81.1

出典 国民健康保険団体連合会「KDBシステム」（大阪市を除く市町村）、厚生労働科学研究「健康寿命の算定プログラム」（大阪市、大阪府、全国）

標準化死亡比(SMR)



男性の標準化死亡比は項目によって差がみられ、死因別の特徴が異なる状況です。肺炎は大阪府を大きく上回る一方、心疾患、腎不全、不慮の事故による死亡は大阪府を大きく下回ります。

SMR	全死因	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺
大阪府	106.6	107.0	117.0	87.9	125.3	134.1	115.5	79.5	95.1	103.8
田尻町	96.9	103.1	101.0	88.0	143.7	127.9	99.8	73.5	83.0	110.5
順位	17	21	7	32	36	33	16	9	16	34
偏差値	54.1	50.5	59.7	43.0	41.0	45.1	55.3	56.1	53.6	43.1

出典 厚労省「人口動態統計特殊報告」

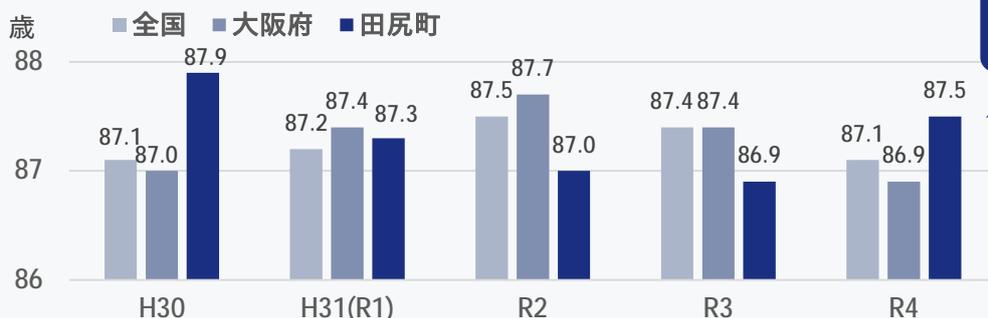
* SMRは、国を基準（100）として数値が大きいほどその項目の死亡者が多いことを示します。

* 順位・偏差値は、市町村別に%の低い順に並べ算出しました。

03 寿命・死亡状況

<女性>

平均寿命の推移



府内20位
偏差値49.6

女性の平均寿命は府内中位に位置し、近年はやや低下傾向でしたが令和4年に再度上昇しています。

健康寿命の推移



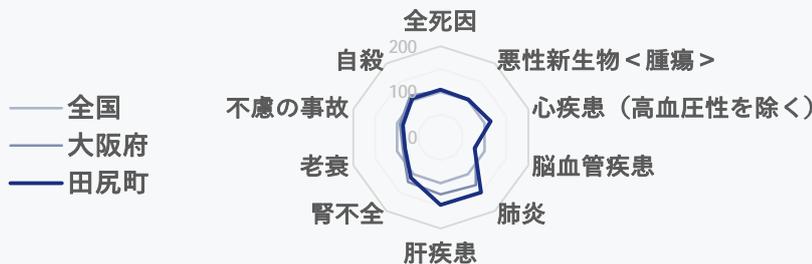
府内27位
偏差値47.5

女性の健康寿命は府内中位にあり、平均寿命との差は大阪府平均よりやや大きい状況です。

平均寿命	H30	H31	R2	R3	R4	健康寿命	H30	H31	R2	R3	R4
全国	87.1	87.2	87.5	87.4	87.1	全国	83.8	84.0	84.2	84.2	84.0
大阪府	87.0	87.4	87.7	87.4	86.9	大阪府	83.3	83.6	83.9	83.8	83.5
田尻町	87.9	87.3	87.0	86.9	87.5	田尻町	84.6	83.6	83.2	83.3	83.8

出典 国民健康保険団体連合会「KDBシステム」（大阪市を除く市町村）、厚生労働科学研究「健康寿命の算定プログラム」（大阪市、大阪府、全国）

標準化死亡比(SMR)



女性の標準化死亡比は100を上回る項目が複数みられ、全国と比べて死亡が多い状況が示されています。特に、肺炎、肝疾患は大阪府を大きく上回っています。

SMR	全死因	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺
大阪府	102.7	103.6	112.0	79.8	129.8	124.5	121.1	86.4	93.5	112.5
田尻町	104.8	102.1	113.9	77.7	149.5	148.1	109.6	81.2	87.1	105.1
順位	26	23	15	19	33	42	13	11	26	21
偏差値	46.2	49.0	53.6	51.3	43.2	32.3	54.8	56.0	51.2	51.6

出典 厚労省「人口動態統計特殊報告」

* SMRは、国を基準(100)として数値が大きいほどその項目の死亡者が多いことを示します。

* 順位・偏差値は、市町村別による低い順に並べ算出しました。

04 人口・世帯数・就業関連情報

年齢階層別人口

項目名	総数, 人	割合, %	順位	偏差値	男性, 人	女性, 人
総人口	8,363	100.0	42	45.3	4,149	4,214
15歳未満	1,165	13.9	5	61.1	608	557
15～64歳	5,202	62.2	3	61.0	2,693	2,509
65歳以上	1,996	23.9	42	38.2	848	1,148

出典 総務省「国勢調査人口等基本集計」

*総人口は市町村別の実人数、年齢階層別人口は市町村別に%の高い順に並べ、順位・偏差値を算出しています。

世帯種別世帯数

項目名	世帯数, 世帯	割合, %	順位	偏差値
一般世帯	3,729	100.0	41	45.9
核家族世帯	1,971	52.9	40	36.3
(再掲) 夫65歳以上、妻60以上の夫婦のみ	336	9.0	42	37.5
単独世帯	1,548	41.5	6	62.9
(再掲) 65歳以上の単独	415	11.1	38	37.7

出典 総務省「国勢調査人口等基本集計」

*一般世帯は市町村別の実世帯数、世帯種別世帯は市町村別に%の高い順に並べ、順位・偏差値を算出しています。

就業関連情報

項目名	割合, %	順位	偏差値
就業者比率	96.9	1	67.9
高齢就業者割合 (65歳以上)	19.9	35	43.9
第2次産業及び第3次産業就業者比率	95.0	27	51.0
他市区町村への通勤者比率	62.8	13	55.4
他市区町村からの通勤者比率	87.5	2	72.4
最終学歴人口 (大学・大学院) 割合	14.9	26	45.8

出典 総務省「国勢調査人口等基本集計」

*順位・偏差値は、市町村別に%の高い順に並べ算出しました。

*就業者比率は、就業者数を、就業者数と完全失業者数を合わせたもので除したものを示しています。

*高齢就業者割合は、65歳以上人口に占める就業者の割合を示しています。

- 年齢階層別人口を見ると、田尻町の総人口は府内下位に位置し、人口規模は小さな町と言えます。15歳未満人口および15～64歳人口の割合はいずれも府内で高く、65歳以上人口の割合は下位に位置しており、年齢構成は若年・生産年齢層が厚い比較的若い構成となっています。
- 世帯種別世帯数を見ると、単独世帯の割合が府内で高く、核家族世帯の割合は下位に位置しています。また、65歳以上のみの夫婦世帯および65歳以上の単独世帯はいずれも府内下位に位置し、世帯構成は単身世帯を中心に、高齢世帯の比重は相対的に小さい構成となっています。
- 就業関連情報を見ると、就業者比率は府内で最も高く、高齢就業者割合は下位に位置しています。第2次・第3次産業就業者比率は概ね平均的な水準です。他市区町村からの通勤者比率は府内で非常に高く、他市区町村への通勤者比率も高い水準にあり、通勤流入・流出ともに活発な地域特性と言えます。最終学歴人口 (大学・大学院) 割合は府内中位に位置しています。

05 生活習慣



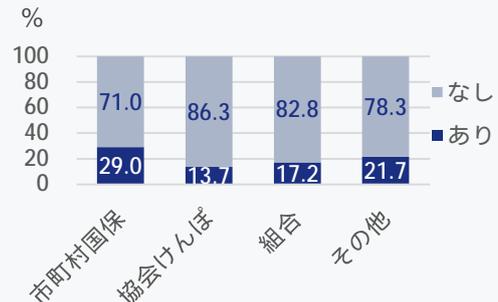
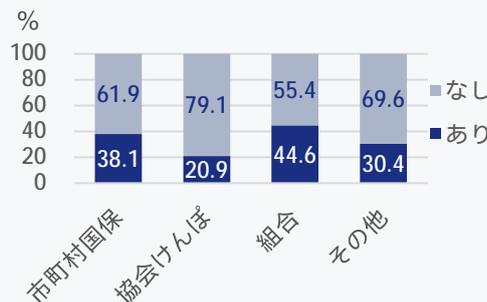
< 男性 (50~59歳) >

< 女性 (50~59歳) >

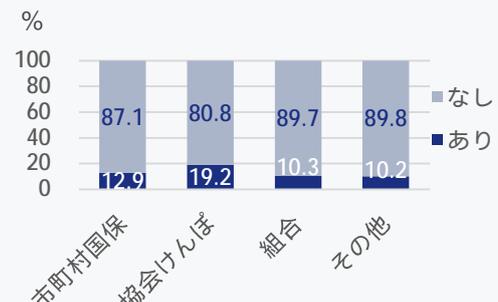
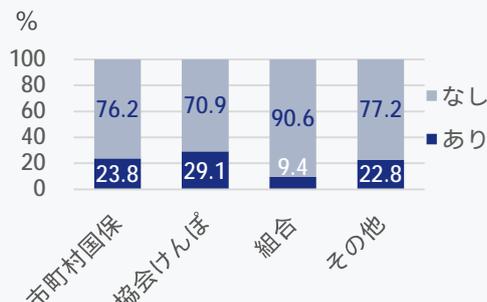
喫煙 状況



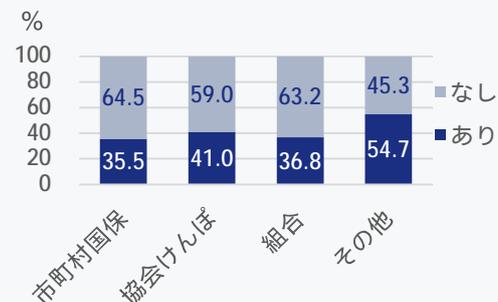
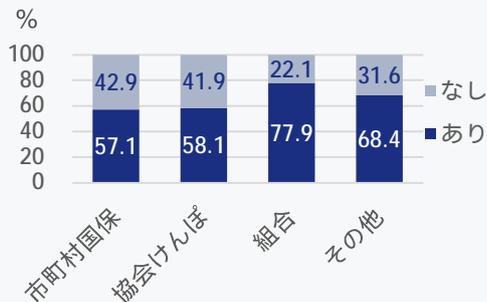
運動習慣 状況



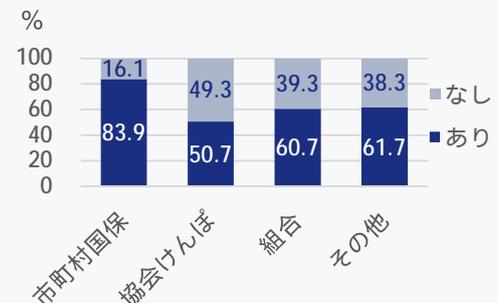
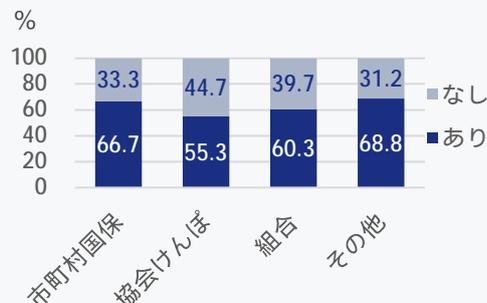
食習慣 (朝食欠食) 状況



飲酒習慣 状況



睡眠 状況



出典 厚生労働省「匿名医療保険等関連情報データベース(NDB)[2021年度特定健診分データ]」

* 保険者区分：組合は「健康保険組合・共済組合・国保組合」とし、その他は「市町村国保、協会けんぽ、組合」以外の保険者としてしました。

* 喫煙状況：喫煙者を「あり」としました。

* 運動習慣状況：30分以上の運動習慣ありを「あり」としました。

* 食習慣状況：朝食欠食週3回以上を「あり」としました。

* 飲酒習慣状況：毎日・時々と回答した人を「あり」としました。

* 睡眠状況：十分な休養ありと回答した人を「あり」としました。



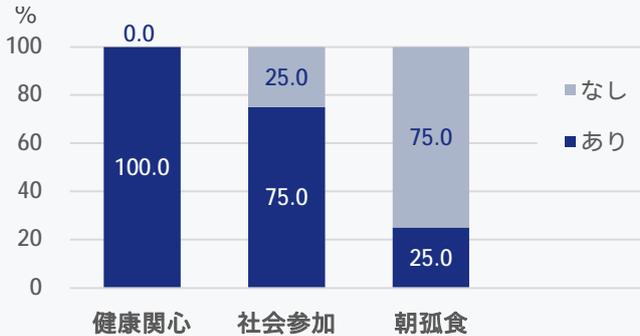
05 生活習慣

<男性>	喫煙状況			運動習慣状況			食習慣状況 (朝食欠食)			飲酒習慣状況			睡眠状況		
	%	順位	偏差値	%	順位	偏差値	%	順位	偏差値	%	順位	偏差値	%	順位	偏差値
市町村国保	23.8	5	63.8	38.1	7	55.3	23.8	28	50.7	57.1	14	52.3	66.7	35	47.5
協会けんぽ	38.1	20	51.6	20.9	42	25.3	29.1	41	39.5	58.1	2	75.0	55.3	40	34.3
組合	22.4	7	59.3	44.6	1	85.9	9.4	1	73.4	77.9	43	25.6	60.3	13	54.2
その他	39.8	43	24.1	30.4	5	62.8	22.8	28	48.3	68.4	34	43.3	68.8	1	74.7

<女性>	喫煙状況			運動習慣状況			食習慣状況 (朝食欠食)			飲酒習慣状況			睡眠状況		
	%	順位	偏差値	%	順位	偏差値	%	順位	偏差値	%	順位	偏差値	%	順位	偏差値
市町村国保	9.7	12	55.3	29.0	14	53.1	12.9	13	53.3	35.5	10	56.3	83.9	2	68.2
協会けんぽ	15.6	23	49.5	13.7	42	29.5	19.2	42	35.9	41.0	2	65.6	50.7	43	29.9
組合	5.0	18	53.0	17.2	35	43.3	10.3	15	53.5	36.8	2	66.9	60.7	2	64.3
その他	6.2	2	65.6	21.7	20	50.9	10.2	4	63.0	54.7	43	19.7	61.7	3	62.7

出典 厚生労働省「匿名医療保険等関連情報データベース(NDB)[2021年度特定健診分データ]

*順位・偏差値は、喫煙状況・食習慣状況(朝食欠食)・飲酒習慣状況は、市町村別に%の低い順に並べ算出し、それ以外の項目は、市町村別に%の高い順に並べ算出しました。



田尻町	健康への関心			社会参加状況			孤食状況(朝)			歯の平均本数		
	%	順位	偏差値	%	順位	偏差値	%	順位	偏差値	本数	順位	偏差値
田尻町	100.0	1	66.0	75.0	2	68.2	25.0	12	53.1	24.8	2	62.9

出典 大阪府「令和4年度健康づくり実態調査報告書」

*順位・偏差値は、孤食(朝)は、市町村別に%の低い順に並べ算出し、それ以外の項目は、市町村別に%の高い順に並べ算出しました。

*健康への関心：関心がある、どちらかと言えば関心があるを「あり」としました。

*社会参加状況：参加していない以外の回答を「あり」としました。

*孤食状況(朝)：ほとんどない、同居している人がいないを「あり」としました。

05 生活習慣

男性（50～59歳）：2021年度 特定健診・特定保健指導結果

- 喫煙者割合は保険者間で差がみられ、その他と協会けんぽで高く、市町村国保と組合では低い傾向です。府内順位では、市町村国保と組合は上位、協会けんぽは中位、その他は下位に位置しています。
- 運動習慣のある人の割合は保険者間で差がみられ、組合で高く、協会けんぽでは低い傾向です。府内順位では、市町村国保、組合、その他は上位、協会けんぽは下位に位置しています。
- 朝食欠食は保険者間で差がみられ、協会けんぽで高く、組合では低い傾向です。府内順位では、組合は上位、市町村国保とその他は中位、協会けんぽは下位に位置しています。
- 飲酒習慣のある人の割合は保険者間で差がみられ、組合で高く、市町村国保や協会けんぽでは低い傾向です。府内順位では、市町村国保と協会けんぽは上位、組合とその他は下位に位置しています。
- 十分な休養がとれている人の割合は保険者間で差がみられ、その他で高く、協会けんぽでは低い傾向です。府内順位では、その他と組合は上位、市町村国保と協会けんぽは下位に位置しています。

女性（50～59歳）：2021年度 特定健診・特定保健指導結果

- 喫煙者割合は保険者間で差がみられ、協会けんぽで高く、組合では低い傾向です。府内順位では、市町村国保とその他は上位、組合は中位、協会けんぽは下位に位置しています。
- 運動習慣のある人の割合は保険者間で差がみられ、市町村国保で高く、協会けんぽでは低い傾向です。府内順位では、市町村国保は上位、その他は中位、協会けんぽと組合は下位に位置しています。
- 朝食欠食は保険者間で差がみられ、協会けんぽで高く、組合やその他では低い傾向です。府内順位では、市町村国保とその他は上位、組合は中位、協会けんぽは下位に位置しています。
- 飲酒習慣のある人の割合は保険者間で差がみられ、その他で高く、市町村国保や組合では低い傾向です。府内順位では、市町村国保、協会けんぽ、組合は上位、その他は下位に位置しています。
- 十分な休養がとれている人の割合は保険者間で差がみられ、市町村国保で高く、協会けんぽでは低い傾向です。府内順位では、市町村国保と組合、その他は上位、協会けんぽは下位に位置しています。

男性・女性（20歳以上）：令和4年度 健康づくり実態調査結果

- 今回の回答者ではすべての人が健康への関心があると回答していました。本結果は府内で上位に位置しています。
- 社会参加をしている人の割合は府内で高い水準にあり、順位・偏差値ともに上位に位置しています。
- 朝食時に孤食となる人の割合は府内で上位に位置しており、概ね平均的な水準です。
- 歯の平均本数は府内で比較的多く、順位・偏差値ともに上位の水準にあります。

なお、本項目は大阪府健康づくり実態調査に基づく結果であり、回答者数は府全体で約2,800人と限られています。市町村別の結果は回答者数が少なくなる場合があり、地域の特性を必ずしも一般化したものではないことに注意が必要です。

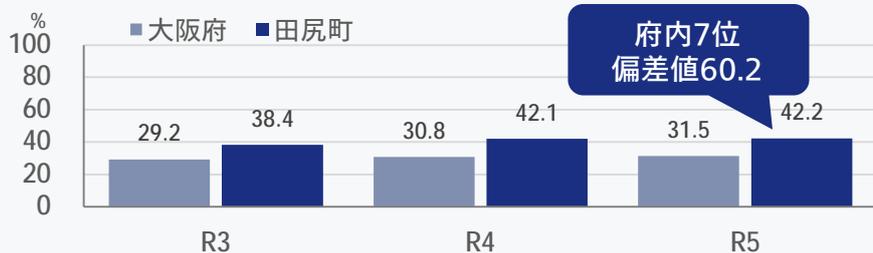
06 けんしん実施状況

特定健診受診率

<市町村国保>

府内39位
偏差値35.3

<協会けんぽ>



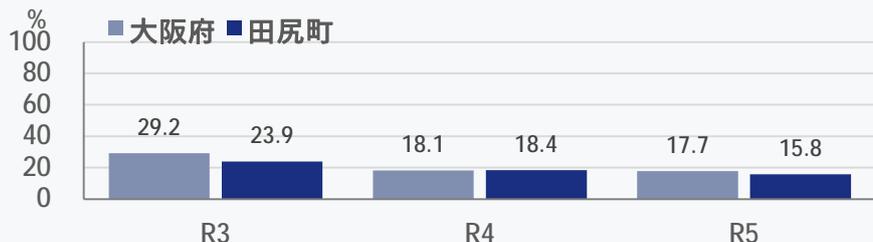
受診率	R3	R4	R5
大阪府(国保)	29.2	30.8	31.5
市町村国保	38.4	42.1	42.2

受診率	R6
大阪府(けんぽ)	57.1
市町村けんぽ	40.9

市町村国保の受診率は令和3年度から令和5年度にかけて上昇しており、府内では上位に位置しています。一方、協会けんぽ（被保険者事業所所在地別）は令和6年度で府内下位の水準にあります。

出典 厚労省「特定健診・特定保健指導について」（市町村国保）、協会けんぽ大阪支部「令和6年度特定健診受診率（被保険者事業所所在地別）」（協会けんぽ）
*順位・偏差値は、市町村別に%の高い順に並べ算出しました。

特定保健指導実施率



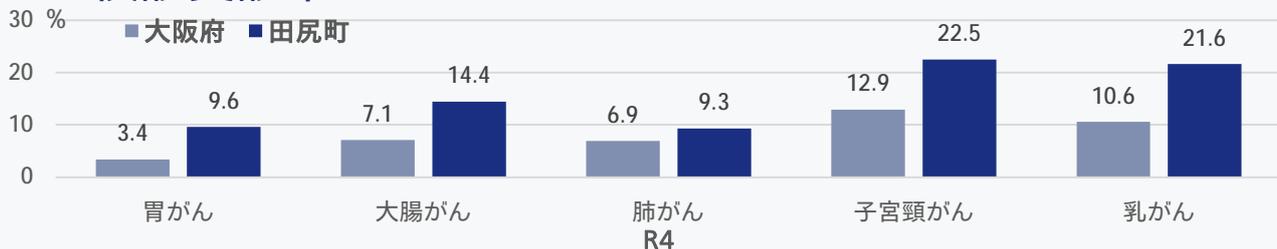
大阪府29位
偏差値43.4

実施率	R3	R4	R5
大阪府	29.2	18.1	17.7
市町村国保	23.9	18.4	15.8

特定保健指導実施率は令和3年度から令和5年度にかけて低下傾向がみられます。府内順位は下位に位置しています。

出典 厚労省「特定健診・特定保健指導について」（市町村国保）
*順位・偏差値は、市町村別に%の高い順に並べ算出しました。

がん検診受診率



受診率	胃がん	大腸がん	肺がん	子宮頸がん	乳がん
大阪府	3.4	7.1	6.9	12.9	10.6
田尻町	9.6	14.4	9.3	22.5	21.6
順位	3	1	13	2	2
偏差値	73.5	73.7	53.4	71.6	72.6

がん検診受診率は、胃がん、大腸がん、肺がん、子宮頸がん、乳がんのいずれにおいても府内上位に位置しています。田尻町では、全てのがん種で大阪府平均を上回る高い水準です。

出典 大阪府「市町村の実施するがん検診の実績」
*順位・偏差値は、市町村別に%の高い順に並べ算出しました。

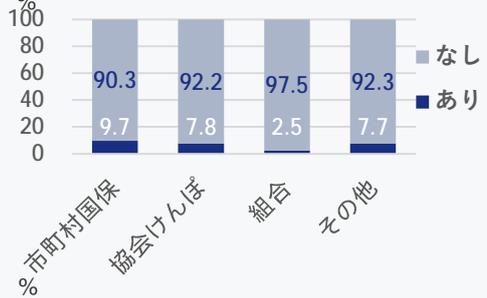
07 特定健診・特定保健指導結果

田尻町の特定健診受診者数（総数）は、1,000人

メタボリック
シンドローム
判定状況



特定保健指導
判定状況



特定保健指導
利用状況



<男性>	メタボリックシンドローム判定状況			特定保健指導判定状況			特定保健指導利用状況		
	%	順位	偏差値	%	順位	偏差値	%	順位	偏差値
市町村国保	23.8	6	61.7	42.9	43	23.0	9.5	10	55.1
協会けんぽ	25.0	9	57.2	28.9	25	50.7	7.2	13	55.4
組合	16.5	1	77.3	32.9	43	25.3	9.4	16	51.6
その他	27.7	41	34.4	26.5	35	43.1	4.8	43	16.4

<女性>	メタボリックシンドローム判定状況			特定保健指導判定状況			特定保健指導利用状況		
	%	順位	偏差値	%	順位	偏差値	%	順位	偏差値
市町村国保	6.5	15	53.0	9.7	32	45.5	3.2	14	50.9
協会けんぽ	5.6	12	55.6	7.8	3	65.4	0.0	43	19.9
組合	0.0	1	76.9	2.5	1	83.9	0.0	39	30.8
その他	3.1	1	69.3	7.7	5	60.9	4.6	10	56.3

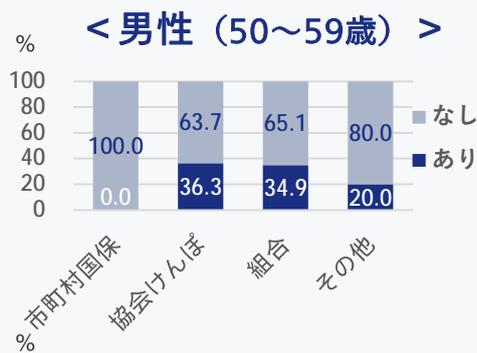
出典 厚生労働省「匿名医療保険等関連情報データベース(NDB)[2021年度特定健診分データ]

*保険者区分：組合は「健康保険組合・共済組合・国保組合」とし、その他は「市町村国保、協会けんぽ、組合」以外の保険者としてしました。

*順位・偏差値は、特定保健指導利用状況は、市町村別に%の高い順に並べ算出し、それ以外は、市町村別に%の低い順に並べ算出しました。

07 特定健診・特定保健指導結果

高血圧有病者



糖尿病有病者



脂質異常症有病者



<男性>	高血圧有病者			糖尿病有病者			脂質異常症有病者		
	%	順位	偏差値	%	順位	偏差値	%	順位	偏差値
市町村国保	0.0	1	74.3	8.3	11	56.1	54.5	27	49.9
協会けんぽ	36.3	39	38.1	0.0	1	79.7	48.8	3	62.3
組合	34.9	43	22.2	0.0	1	71.1	46.4	5	58.5
その他	20.0	4	64.3	11.1	32	47.0	41.3	2	71.6

<女性>	高血圧有病者			糖尿病有病者			脂質異常症有病者		
	%	順位	偏差値	%	順位	偏差値	%	順位	偏差値
市町村国保	0.0	1	69.6	0.0	1	66.4	27.3	3	72.5
協会けんぽ	15.6	4	62.2	0.0	1	71.6	39.5	2	61.2
組合	0.0	1	80.3	0.0	1	63.4	36.7	2	65.0
その他	13.3	18	52.2	0.0	1	67.2	27.8	1	86.9

出典 厚生労働省「匿名医療保険等関連情報データベース(NDB)[2021年度特定健診分データ]

*保険者区分：組合は「健康保険組合・共済組合・国保組合」とし、その他は「市町村国保、協会けんぽ、組合」以外の保険者としてしました。

*順位・偏差値は、市町村別に%の低い順に並べ算出しました。

*高血圧有病者は、「収縮期140mmHg以上、または拡張期90mmHg以上または服薬者」として算出しました。

*糖尿病有病者は、「HbA1c6.5%以上または服薬者」として算出しました。

*脂質異常有病者は、「LDL-コレステロール140mg/dL以上、または中性脂肪150mg/dL以上、またはHDL-コレステロール40mg/dL未満、または服薬者」として算出しました。

07 特定健診・特定保健指導結果

男性（50～59歳）

- メタボリックシンドローム判定状況を見ると、保険者間で差がみられ、その他で最も高く、協会けんぽ、市町村国保、組合の順となっています。府内順位では、市町村国保、協会けんぽ、組合はいずれも上位、その他は下位に位置しています。
- 特定保健指導判定状況では、その他のみメタボリックシンドローム判定状況よりやや低下していますが、その他の保険者ではいずれも上昇がみられます。判定割合は保険者間で差がみられ、市町村国保で最も高く、組合、協会けんぽ、その他の順となっています。府内順位では、協会けんぽは中位、その他の保険者はいずれも下位に位置しています。
- 特定保健指導利用状況を見ると、市町村国保と組合で比較的高く、次いで協会けんぽ、その他の順となっています。府内順位では、市町村国保、協会けんぽは上位、組合は中位、その他は下位に位置しています。
- 高血圧有病者の状況では、市町村国保では該当者はみられませんが、判定不能者が67%を占めています。このため、本結果は判定可能者のみを対象とした参考値にとどまります。市町村国保を除くと、保険者間で差がみられ、協会けんぽで最も高く、次いで組合、その他の順となっています。府内順位では、市町村国保、その他は上位、協会けんぽ、組合は下位に位置しています。
- 糖尿病有病者の状況を見ると、協会けんぽと組合では該当者はみられませんが、協会けんぽの判定不能者は79%、組合は82%を占めています。このため、本結果は判定可能者のみを対象とした参考値にとどまります。その他で最も高く、市町村国保が続きます。府内順位では、市町村国保、協会けんぽ、組合は上位、その他は下位に位置しています。
- 脂質異常症有病者は、保険者間で差がみられ、市町村国保で最も高く、協会けんぽ、組合、その他の順となっています。府内順位では、協会けんぽ、組合、その他は上位、市町村国保は中位に位置しています。

女性（50～59歳）

- メタボリックシンドローム判定状況を見ると、保険者間で差がみられ、市町村国保で最も高く、協会けんぽ、その他の順となっており、組合では該当がみられません。府内順位では、協会けんぽ、組合、その他は上位、市町村国保は中位に位置しています。
- 特定保健指導判定状況を見ると、いずれの保険者でもメタボリックシンドローム判定状況より上昇がみられます。判定割合は保険者間で差がみられ、市町村国保で最も高く、協会けんぽ、その他、組合の順となっています。府内順位では、協会けんぽ、組合、その他は上位、市町村国保は下位に位置しています。
- 特定保健指導利用状況を見ると、その他で最も高く、市町村国保が続き、協会けんぽ、組合では該当がみられません。府内順位では、市町村国保、その他は上位、協会けんぽ、組合は下位に位置しています。
- 高血圧有病者の状況では、市町村国保、組合では該当者はみられませんが、判定不能者が市町村国保は48%、組合は55%を占めています。このため、本結果は判定可能者のみを対象とした参考値にとどまります。割合は、協会けんぽが最も高く、次いでその他の順となっています。府内順位では、市町村国保、協会けんぽ、組合は上位、その他は中位に位置しています。
- 糖尿病有病者については、いずれの保険者でも該当がみられませんが、判定不能者が市町村国保は68%、協会けんぽは69%、組合は75%、その他は79%を占めています。このため、本結果は判定可能者のみを対象とした参考値にとどまります。
- 脂質異常症有病者の状況を見ると、保険者間で差がみられ、協会けんぽが最も高く、組合、その他、市町村国保の順となっています。府内順位では、いずれの保険者も上位に位置しています。

<留意事項>

高血圧有病者：男女とも、市町村国保で、判定に必要な情報が不足している人が半数以上となっています。本結果は、判定が可能であった人を対象に集計したものであるため、参考程度の情報としてご覧ください。

糖尿病有病者：男性は協会けんぽ、組合、その他、女性は全ての保険者で、判定に必要な情報が不足している人が半数以上となっています。本結果は、判定が可能であった人を対象に集計したものであるため、参考程度の情報としてご覧ください。

08 寿命に関連する要因

寿命に関連する要因



TOPIC：平均寿命・健康寿命に関連する要因は？

大阪府では、令和7年度に大阪大学と連携して、市町村別の平均寿命および健康寿命に関連する要因分析を実施しました。

寿命には医療や生活習慣だけでなく、社会・環境・働き方など、多様な要素が複雑に関わります。そこで今回、幅広いデータセットをもとに平均寿命および健康寿命に影響のある指標を抽出し、各市町の特徴を踏まえてまとめました。

分析には、

- ① 社会・経済・人口などの全国統計（e-Stat 指標）
- ② 住民の健康行動・生活習慣の実態（大阪府健康づくり実態調査）
- ③ 健診と医療データ（NDB 特定健診関連指標）

の3種類の情報を使用しました。まず大阪府全体で平均寿命・健康寿命との関連が強い指標を機械学習という手法を用いてスクリーニングし、さらに一貫した関連・影響力があるものを抽出しました。その上で、各市町の実態に当てはめ、あなたの市町で特に影響が大きい要因を上位3つずつ選んでいます。これにより、「この市ではどの生活特性・社会的背景が寿命に強く影響しているのか」、「重点的に取り組むべき要因はどれか」を市町ごとに把握しやすくしました。

< 指標の説明 >

影響度：影響の強さを50を基準とするスコアで整理しています。数値が50を超える場合、その市町では、該当項目が寿命を伸ばす方向に働いている度合いが大きいと解釈できます。反対に、数値が50を下回る場合、該当項目が寿命を短くする方向に働きやすいと読み取れます。

本市町村がどの要因の影響を受けやすいのか、施策検討の際の手がかりとしてご活用ください。

* 「孤食の少なさ（朝食）」および「地域コミュニティへの参加あり」は、05生活習慣と08寿命に関連する要因で偏差値の算出方法が異なります。また、08では、回答にスコアを付与し市町村別平均点から偏差値を算出しています。一方、05では、社会参加の有無（該当者割合％）を基に偏差値を算出しています。そのため、同一項目でも順位および偏差値が一致しない場合があります。

* 「08 寿命に関連する要因」におけるデータの出典等の詳細については、下記大阪府HPに掲載している「健康寿命・平均寿命に関する要因分析報告書」を参照ください。

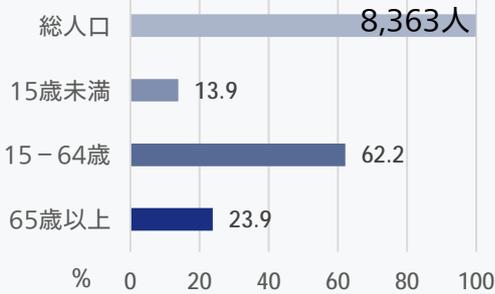
<https://www.pref.osaka.lg.jp/o100070/kenkozukuri/kenkoukarute/index.html>

田尻町	偏差値			影響度（男性）		影響度（女性）	
	男女	男性	女性	平均寿命	健康寿命	平均寿命	健康寿命
65歳以上世帯員の非単独世帯の割合	62.2	-	-	-	57.6	-	53.7
最終学歴人口（大学・大学院）の割合	45.8	-	-	48.1	47.8	48.0	48.6
孤食の少なさ（朝食）	64.7	-	-	-	57.3	-	53.1
地域コミュニティへの参加あり	82.7	-	-	57.4	-	56.8	-
健診受診頻度の多さ	51.4	-	-	50.6	50.5	50.4	50.3
運動制限なしの割合	56.0	-	-	52.7	52.6	51.3	51.3
国保現在喫煙 非該当者	-	63.6	55.3	51.6	51.9	53.7	53.1
寿命順位（R4年度）	-	-	-	2	6	20	27

田尻町では、他の市町村に比べて、65歳以上世帯員の非単独世帯割合の高さや、孤食（朝食）の少なさ、地域コミュニティへの参加の多さ、健診受診頻度の多さ、運動制限なしの割合の高さ、国保の現在喫煙非該当者割合の高さが、寿命を長くする方向に関連しています。一方で、最終学歴人口（大学・大学院）割合の低さが、寿命を短くする方向に関連しています。

09 地域健康カルテ（田尻町概要版）

人口・世帯数・就業関連情報

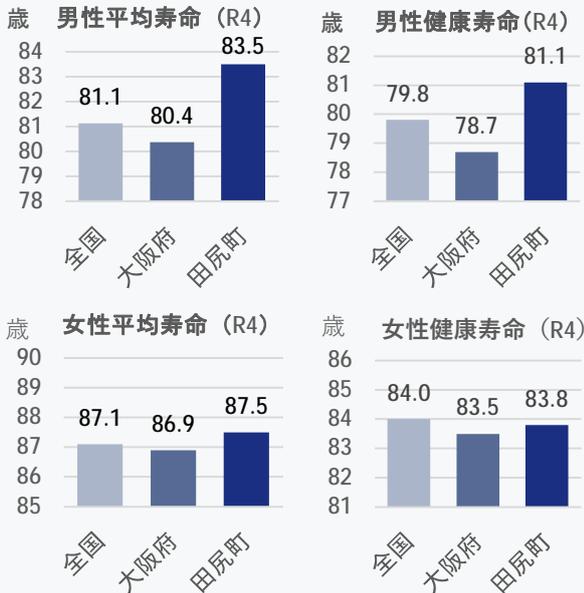


年齢階層別人口を見ると、田尻町の総人口は府内下位に位置し、人口規模は小さな町といえます。

15歳未満および15～64歳人口の割合は府内上位にある一方、65歳以上人口の割合は下位に位置します。

町内の人口構成としては、比較的若い世代が多い地域といえます。

平均寿命・健康寿命



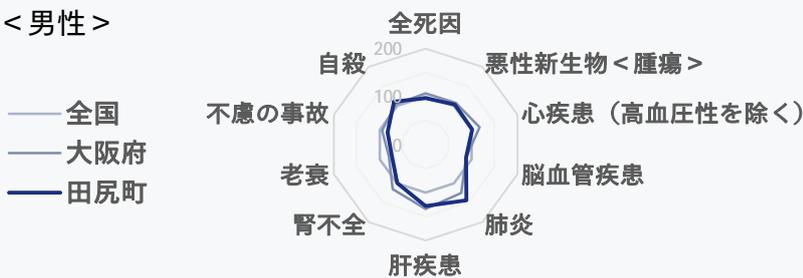
平均寿命は、男性が府内上位に位置する一方、女性は中位にあります。

健康寿命も同様に、男性が上位、女性は中位で、平均寿命との差は男女とも大阪府平均よりやや大きい状況です。

近年はいずれも小さな変動の範囲で推移しています。

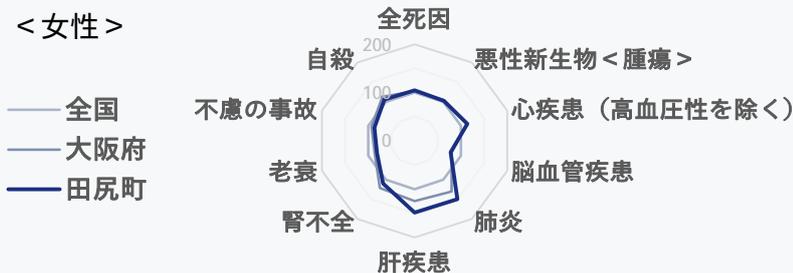
標準化死亡比(SMR)

< 男性 >



田尻町の標準化死亡比をみると、男性は、項目によって差がみられ、死因別に特徴が異なる状況です。肺炎は大阪府の水準を大きく上回る一方、心疾患、腎不全、不慮の事故は大阪府の水準を大きく下回ります。

< 女性 >



女性は、100を上回る項目が複数みられ、全国と比べて死亡が多い状況が示されています。肺炎、肝疾患は大阪府の水準を大きく上回っています。

09 地域健康カルテ（田尻町概要版）

生活習慣 健診等

- 田尻町の50～59歳の生活習慣の結果をみると、各項目で保険者間のばらつきがみられる。男性では協会けんぽやその他で喫煙が多く、特にその他は府内比較で最下位に位置します。運動習慣は協会けんぽで低く、府内順位も下位です。食習慣では市町村国保・協会けんぽ・その他で該当割合が高く、府内順位は中位から下位に位置します。飲酒習慣は組合とその他で高く、府内順位も下位となっています。睡眠状況は協会けんぽで該当割合が低く、市町村国保とともに府内順位は下位です。一方女性では、協会けんぽで喫煙割合が高く、運動習慣は協会けんぽと組合で低く府内下位に位置します。食習慣は、協会けんぽで該当割合が高く、府内下位です。飲酒習慣は、その他で高く府内下位となっています。睡眠状況は協会けんぽで低く、府内最下位です。
- 健康づくり実態調査では、いずれの項目も府内上位に位置しています。
- 健診実施状況をみると、市町村国保の特定健診受診率は府内上位で上昇傾向にある一方、協会けんぽは下位に位置します。市町村国保の特定保健指導実施率は低下傾向にあり、府内下位にとどまっています
- がん検診受診率は、すべてのがん種で府内上位に位置します。
- 健診結果では、メタボ判定や特定保健指導の判定・利用に保険者差がみられます。市町村国保・組合では特定保健指導判定の該当割合が高く、府内下位に位置します。その他では、特定保健指導利用につながりにくい様子もみられます。女性では、市町村国保で特定保健指導判定割合が高く、協会けんぽや組合では特定保健指導の利用につながりにくい様子が見られます。
- なお、高血圧・糖尿病は判定不能者が多い保険者があり、参考値としての解釈が必要ですが、男性では協会けんぽや組合で高血圧有病者割合が高く、その他では糖尿病有病者割合が高い状況です。

課題の まとめ



生活習慣は保険者差が大きく、各項目ごとに府内順位で下位層が見られます。



市町村国保は受診率が府内上位である一方、保健指導の実施・利用の底上げが課題で、協会けんぽは受診率の向上が望まれます。



高血圧・糖尿病で判定に必要な健診項目の不備が多く、府内比較を含む状況把握が難しくなっています。

*本内容は、令和7年度健康カルテ掲載情報に基づく想定課題であり、追加情報により課題が変化する可能性があります。

検討 ポイント



保険者別に下位項目を整理し、重点対象と取組テーマを絞ることが望まれます。



市町村国保は受診後の案内～予約導線の改善、協会けんぽは事業所での受診勧奨と受診機会の確保を進め、受診・保健指導の実施を高めることが望まれます。



健診項目の記録・提出の流れを関係機関と確認し、不備が生じる工程の把握と改善を進めることが望まれます。

令和7年度地域健康カルテ

発行 大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課
(業務受託者) 大阪大学医学系研究科公衆衛生学

